



図書館だより



2023.11 伊丹市立東中学校 | 図書室

窓ぎわのトットちゃん

落ち着きがないことを理由に、小学校を退学になってしまったトットちゃん。

新しく通うことになったトモエ学園の校長先生は、出会ったばかりのトットちゃんに優しく語りかけた。

「君は、本当は、いい子なんだよ。」

トットちゃんの元気いっぱい、すべてが初めてだらけの日々が始まるー

今から80年前、第二次世界大戦が終わる少し前の激動の時代を背景に、黒柳徹子の幼少期を自叙伝に描いた「窓ぎわのトットちゃん」。日本のみならず、海を越えて多くの国で愛される世界的ベストセラー作品です。(映画『窓ぎわのトットちゃん』公式サイトより)

トットちゃんは小学校を退学させられ“変わった子”として言われてきましたが、よいところはたくさんある。そんなトットちゃんに向けての「君は、ほんとうは、いい子なんだよ。」という大切な言葉。黒柳さんは「先生のあの言葉が無ければ、母親が自分に劣等生の烙印を押していたら、私は何をやっても叱られて、自分に自信が持てずコンプレックスになり、何もできない大人になっていたでしょう」とあとがきを綴っています。

12月の映画公開前に原作の本を読んでみませんか？

「窓ぎわのトットちゃん」黒柳 徹子 講談社 青い鳥文庫 は図書室に置いてありますのでぜひ読んでみてください！



≪開館案内≫

開館日時：昼休み

貸出冊数：1週間5冊

≪おすすめの本≫

内容紹介：ことば蔵より

『トットちゃんとトットちゃんたち』

黒柳 徹子 講談社

スワヒリ語では、子どものことを「トット」といいます。ユニセフの親善大使に選ばれたトットちゃんこと黒柳徹子が視察した、アフリカやアジアの戦争や飢えに苦しむ小さなトットちゃんたちの現状報告。

『五つのパン』

カレル・チャペック 理論社

技術開発により人間が滅亡する可能性を警告したチェコの小説家・劇作家チャペックの短編集。表題作ほか「チンターマニと小鳥たち」「飛べた男」「足跡」など全13編を収録する。

『かがみの孤城』

辻村 深月 ポプラ社

上
学校での居場所をなくし、部屋に閉じこもっていた“こころ”の目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の6人が集められていた。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。

下
部屋の鏡をくぐり抜けた先にある城に通う“こころ”。そこで出会った、境遇の似た仲間たちそれぞれの事情が少しずつ明らかになるなか、城の終わりの日が近づいてくる。鍵は見つかるのか、果たしてこの中の誰の願いが叶うのか？

『本好きの下剋上』

香月 美夜 TOブックス

1
本が大好きな女子大生が、病気がちな5歳の女の子、マインとして生まれ変わったのは、書物がほとんど存在しない世界。いくら読みたくても高価で手に入らない。そこでマインはある決意をし…。

2
文字を書き残すべく奮闘するも失敗続きのマイン。おまけに「身食い」に侵されて寝込んでばかり。近所に暮らす少年・ルッツの助けもあって、ようやく本格的な紙作りが始まるが…。

3
病に倒れるも一命を取り留めたマイン。だが完治はできない。限られた時間の中で、マインは「本に囲まれて、本を読んで暮らすこと」を夢見て奔走する。やがて季節は流れ、出会いが訪れ…

『本好きの下剋上』は先月一番多く貸し出しされた本です。図書室には29巻まで揃っていますので、ぜひ読んでみてください！！